

## 平成21年度5月補正予算について

( 追 加 分 )

## 編 成 方 針

今般の新型インフルエンザの感染拡大の状況を踏まえ、医療体制の確保をさらにすすめるとともに、重症化しやすい慢性疾患患者等に対する院内感染防止設備の整備補助など、当面の緊急的な措置を講ずるため、5月補正予算に追加する補正予算を編成した。

## 予 算 規 模

単位:百万円

区 分	補正前予算額	補正額	補正後予算額
一 般 会 計	3,052,483	960	3,053,443

## 補正予算の内訳

単位:百万円、%

歳 出	区 分	補正前予算額	補正額	補正後予算額	構成比
	一 般 施 策 経 費	1,172,684	960	1,173,644	38.4
歳 出 合 計		3,052,483	960	3,053,443	100.0
	うち一般歳出	2,305,227	960	2,306,187	75.5

歳 入	区 分	補正前予算額	補正額	補正後予算額	構成比
	国 庫 支 出 金	227,234	960	228,193	7.5
	経済危機対策交付金	212	960	1,172	0.0
歳 入 合 計		3,052,483	960	3,053,443	100.0

(各表においては、端数処理の関係上、合計と内訳が一致しない場合がある。)

## 補 正 項 目

単位:百万円

新型インフルエンザ対策の充実	960
・新型インフルエンザに対する医療体制の確保促進	138
・慢性疾患患者や妊婦等への対策の強化	764
・抗インフルエンザウイルス薬の備蓄追加	58

## 5月補正予算 新型インフルエンザ対策の追加について

## 項目

## 1 新型インフルエンザに対する医療体制の確保促進 1.38億円

## ・ 2次感染防止のための初期整備費を補助

1 医療機関上限150千円×920箇所

- ・ 一般患者とは別に診察場所を設けるための備品などの購入
- ・ 府内の病院・有床診療所を対象（発熱外来開設病院等を除く）

## 2 慢性疾患患者（人工透析）や妊婦等への対策の強化 7.64億円

- ・ 健康成人より重症化する可能性が高い患者（ ）を受け入れる  
医療機関に対して陰圧室の整備費を補助（756,000千円）

（ ） 妊婦、慢性疾患患者(人工透析)、小児慢性特定疾患患者等

陰圧室の整備費補助

&lt;入院対応用&gt; 1床あたり上限3,000千円×126床

&lt;外来対応用&gt; 1医療機関上限3,000千円×126箇所

- ・ 重症化リスクのある方に対する普及啓発（7,920千円）

## 3 抗インフルエンザウイルス薬の備蓄追加 0.58億円

- ・ 主に若年者等に対する使用が想定されるリレンザを追加購入

当初予算措置による確保分 約3万人分（88,450千円）

追加予算措置による確保分 約2万人分（58,000千円）

合計で約5万人分を備蓄

合計 9.60億円

## 財源

地域活性化・経済危機対策臨時交付金